

# はじめに

新潟市立総合教育センター

所長 室賀 美津雄

このたび、小学校理科学習資料「新潟市近郊の地層観察ガイド」第1集（平成7年度刊行）に続いて、第2集を刊行いたします。

理科学習では、自然の事象に直接触れることが大切であることが分かっていますが、身近に適切な事物・事象が得られないと、ついスライドや映画、ビデオ等の映像教材で学習を終えてしまうことがあります。特に、新潟市は信濃川と阿賀野川に挟まれ、両方の川が運んだ砂が堆積してできた平坦地であるため、地層を観察することは困難です。しかし、ちょっと市外へ出かければ里山があり、切り通しなどで地層を観察することができます。第1集では、新潟市から比較的近い新津丘陵（新津市）、護摩堂山（南蒲原郡田上町）、角田山（西蒲原郡巻町）、早出川（中蒲原郡村松町）の4コースを紹介しました。この第2集では、「笹神丘陵」（新発田市及び北蒲原郡笹神村）、「五十公野公園」（新発田市）、「新津丘陵」（中蒲原郡小須戸町）、「胎内」（北蒲原郡黒川村及び中条町）の4コースを紹介しました。いずれも、遠足や登山のコースにも近く、安全かつ子供たちが興味をもって地層（自然）の不思議を観察できる場所です。また、コースによっては河岸段丘も見ることができて、大地を削った川の力に驚嘆することもできます。

第2集の各コースは、当センター科学教育部の専門員の先生方の協力を得て、2年間にわたって現地調査をし、教材としての諸条件を吟味したものです。また、案内図や説明図、そして写真をできるだけ多く取り入れて編集しました。いくつか地質や岩石などの専門用語も出てきますが、難しいものはできるだけ避けて授業者の解説がしやすい用語を選びました。

子供たちには、川の偉大な働きを物語る河岸段丘や地層の観察に加え、長い地球の歴史につながる貝の化石などの発見もあり、興味深い理科学習の展開が期待されます。理科学習では、子供たちが自然と触れ合う「直接経験」が極めて大切です。子供たちが自然を注意深く観察し、そこから生まれた疑問や不思議の解明に目を輝かせて取り組むような学習活動の展開が求められています。本書は、そのような学習のガイドブックとして活用されることを願っています。

最後に、熱心に調査研究と編集にご苦勞をいただいた専門員の先生方、貴重なご指導、ご協力をいただいた先生方に感謝を申し上げ、本書刊行のことばといたします。

平成12年3月